について紹介された。第2部「意見交換会」は、山下雅司・中小機構中心市街地サポートマネジャーがコーディネーターとなり参加者同士の意見交換が活発に行われ閉会した。

Etw・Vonneguet
"仲間"の激励に支えられ
受注会を単独開催

Rin

東京発 日本ファッション・ウィーク（JFWinTOKYO）が東日本大震災や電力計画停電の影響を受けて中止となった中で、若者向けブランドとして注目を集めている「Etw・Vonneguet（エトヴァス・ボネゲ）11AW（秋冬）展示会～新作コレクション11AW［Symbolic］受注会」が、3月22日から25日まで中小機構が運営するテストマーケティングショップ「Rin」（東京都港区北青山3ノ6ノ26）で開かれた＝写真（中央はデザイナーのOgaさん）。

エトヴァス・ボネゲは、昨年JFW東京コレクションに初参加し、様々な有名アーティストへの衣装提供やデジタルツールを駆使したプレゼンテーション、一般モデル公募などで話題を集めてきたブランド。今回の受注会は、同ブランドデザイナー・Olgaさんが掲げるデザインの基本ポリシーである「社会に対する意味的デザイン活用」を実践するため、あえて単独開催したもので「震災があってもJFWデザイナーとして、臆することなく今まで以上に頑張るという気持ちを開催することで表現したかった」と語る。

当初予定していたラフォーレ原宿からRinへの移転開催で、パンツ、Tシャツなど約20品目の新作コレクションを出展したが、「既存店のバイヤーだけでなく一般のお客さんが来場、新たなネットワークができたのが何よりの収穫となった」という。また被災地・仙台で同ブランドを販売する店舗から「是非行きたかった。しかし開催する勇気に励まされた」とのメールが入った。こうした"仲間"の激励に支えられたOlgaさん「苦しい時だからこそやって良かった」と言い聞かせるように話した。

銘石使った照明展示
茨城の石材店 高級御影石中心に

茨城県の高級御影石を中心に、日本各地の銘石を使用した石の照明「和のあかり」展が3月9、10の両日、「Rin」イベントスペースで開催された。墓石、造園などを手掛ける石材店の千石匠（茨城県桜川市）が企画、地元の真壁御影石のほか宮城、神奈川、香川、福岡など各県の石材を使用して製作した室外やインテリア向けの照明製品を展示した＝写真。

御影石は高級墓石として需要を伸ばしてきたものの、中国をはじめ海外からの安価な石材の輸入に押され、近年はピーク時に比べ市場規模は半減してきているのが現状という。千石匠の千々松滋・代表取締役はその対応として、「墓石以外での御影石の魅力を引き出し、新たな需要を掘り起こすとともに、次代を担う若い職人たちが将来に希望が持てるよう2年前から"和のあかり"の製作に取り組んできた」と話す。そして「石は加工しだいでいろいろな作品になる。石のぬくもり、あたたかさを感じる職人たちの技を生かしたあかりを目指してきた。石をくり抜き、デザインを考えて製作する手づくりで、2日に一つ作るのが精一杯」という。

現在、直販やネットを中心に販売展開しているが「少しずつ需要回帰の手ごたえを掴みつつある。この展示会を通じ、より多くの人たちに身近で親しみやすい石のあかりをアピールしたい」（千々松社長）と期待感を示す。

短信

■「温室効果ガス排出削減量連動型中小企業グリーン投資促進事業」第2次公募

低炭素投資促進機構は、「温室効果ガス排出削減量連動型中小企業グリーン投資促進事業」の第2次公募を開始した。省エネ性能の高い機器や非化石エネルギーを利用した設備の導入を行う中小企業者に対し、温室効果ガスの排出削減見込み量に応じた助成金を交付する。申請受付期間は4月11日から6月3日まで。なお、第1次公募から1部要件が変更されている。助成金交付時期は6月中旬の予定。

問い合わせ＝低炭素投資促進機構グリーン投資業務部（☎03・6280・5798）まで。http://teitanso.force.com/green

Rin 4―5月の主なイベント予定

【1階ショップ 特集企画】
◆「オリジナル商品発表『和を寿ぐ』」＝4月14日～5月10日
【3階イベントスペース】
◆「WEDDING DRESS COLLECTION『絹の花嫁』―眺めるほどに優しさと上質が伝わるドレス達―」＝5月3日～5日、主催・騒人
問い合わせ＝Rin（☎03・6418・7024）
http://rin.smrj.go.jp
※イベントは変更になる場合があります。